

# RHYTHM

## 電波時計 取扱説明書

### (掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

### 製造販売元

## リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
http://www.rhythm.co.jp

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

### ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。  
Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1609)

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

**図記号の説明** ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

**警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

**必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**禁止** 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

**電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要ときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

**注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

**必ず守る** 電池の⊕⊖を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

**禁止** 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

**浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**  
さびや故障の原因になります。

**ぬれた手でさわらない**  
さびや故障の原因になります。

**分解や改造をしない**  
けがや故障の原因になります。

**禁止** 下記のような場所では使わない  
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

### ■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

### ■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試し用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買った置ききの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

## 電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

## 静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

## おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ \*結露しないこと  
液晶表示可読温度範囲 0～40℃  
時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度  
標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒 (温度が5～35℃のとき)

使用電池 単3形マンガン乾電池 JIS規格 1.5V R6P 2個  
電池寿命 約1年 標準電波の受信に成功して、暗所秒針停止7時間/日 (※)

暗所秒針停止 明暗センサーに連動して12時位置に停止  
電池交換時期 電池マークが点灯、秒針が12時位置に常時停止

お知らせ機能

電波時計機能 標準電波を受信して日時を自動修正

受信局 福島局/九州局 自動選択

受信機能 ON/OFF切り替え可能

自動受信回数 12回/日

自動受信時刻 0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22時各時間帯の16分20秒に受信開始

手動時刻合わせ デジタル合わせ

カレンダー 2010～2099年

温度表示範囲 -9.9～50℃

測定精度 ±1℃ (表示範囲内)

湿度表示範囲 20～90%RH (5～50℃のとき)

測定精度 温度が20～25℃のとき 60%RH ±3%RH 60%RHを除く20～90%RH ±4%RH

温湿度測定間隔 1分に1回

防水/防塵機能 なし

(※) 電池寿命は、音や光で常時警告する状態では短くなります。

○単3形アルカリ乾電池を使用することができます。単3形マンガン乾電池との混在使用はできません。

○%RHは数値が相対湿度を表しています。天気予報など一般的には「%」で表示されています。

○液晶表示は5年を超えると表示が薄くなる場合があります。

○液晶は0℃以下の低温では表示が薄くなったり、反応が遅くなる場合があります。また、40℃より高温では表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

○温度・湿度センサーは経年変化により精度が低下することがあります。

○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

お試用電池 2個、木ねじ 1個、取扱説明書 本書、保証書 1枚

## お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)をお伝えください。例 4FY○○○、4FYA○○

(フリーダイヤル)  
**お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

## 電波時計について

### 電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

### 標準電波の送信停止について

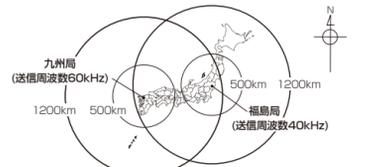
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



## 熱中症の予防について

### 日常生活における熱中症予防指針

日本生気象学会(2013) 日常生活における熱中症予防指針Ver.3より

製品の表示	温度基準(WBGT温度)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
<b>危険</b> 厳重警戒 要配慮	<b>危険</b> (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
<b>厳重警戒</b> 要配慮	<b>厳重警戒</b> (28～31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
<b>警戒</b> 注意	<b>警戒</b> (25～28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
<b>注意</b>	<b>注意</b> (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

(28～31℃は 28℃以上31℃未満の意味)

上記のWBGTの温度範囲に、測定した温度を直接当てはめることはできません。WBGT温度(暑さ指数)は熱中症予防のための指標で、気温、気流、湿度、輻射熱の4要素の組み合わせによる温熱環境を総合的に評価したものです。本製品のWBGTは温度と湿度からの推定値を使用しています。

### 注意すべき生活活動強度の目安

日本生気象学会(2013) 日常生活における熱中症予防指針Ver.3より

軽い(3.0 METs 未満)	中等度(3.0-6.5 METs)	強い(6.5 METs 以上)	
休息・談話 食事・身の回り 楽器演奏 裁縫(縫い、ミシンかけ) 自動車運転 机上事務 乗物(電車・バス立位) 洗濯	手洗い、洗顔、歯磨き 炊事(料理・かたづけ) 買い物 掃除(電気掃除機) 普通歩行 67m/分 ストレッチング ゲートボール※	自転車 16km/時 未満 庭の草むしり 芝刈り ウォーキング 107m/分 ウエア体操 ジャズダンス ゴルフ※ 野球※ 垣根の刈り込み	ジョギング 登山 サッカー 剣道 水泳 バスケットボール リズミック エアロビクス ランニング 134m/分 マラソン バドミントン

※野球やゴルフ、ゲートボールは活動強度は低いが運動時間が長いので要注意。

○METs(メッツ)は身体活動の「強さ」を表す単位です。安静時に対して何倍の身体活動に相当するのかが6.5METsのように表します。

### 熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

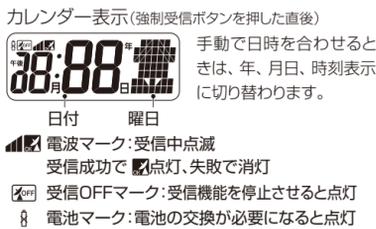
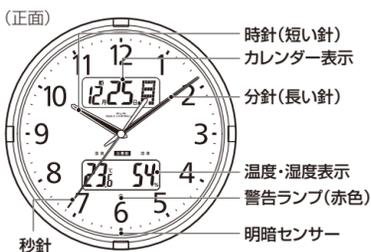
### インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こり易くなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

## 各部の名称と役割

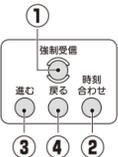
◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



**液晶表示について**  
時計を掛けて少し見上げる位置がクッキリと見やすくなっています。他の方向から見ると、表示が薄くなったり、むらになったりします。

**針の動き**  
時針・分針：10秒に1回転動きます。 秒針：1秒ステップ。  
※自動受信で時刻を修正するときに、早送りしたり停止したりすることがあります。

- ① **強制受信** — 電池をセットした直後に押します。電池をセットした直後は2010年1月1日 午前12:00になります。
- ② **時刻合わせ** — 電波が受信できないときなど、手動で日時を合わせるときに使用します。
- ③ **進む** — 日時の数値を合わせるときに使用します。
- ④ **戻る** — 操作 押してすぐ離す 押し続ける  
進む 1つ進む 早送り  
戻る 1つ戻る 早戻し
- ⑥ **警告スイッチ** 光(警告ランプ)、光&音による警告を選択します。
- ⑥ **モニター** — 音や光での警告を試すときに押します。



## 明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針が12時位置に停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。十分に明るい所で秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要です。

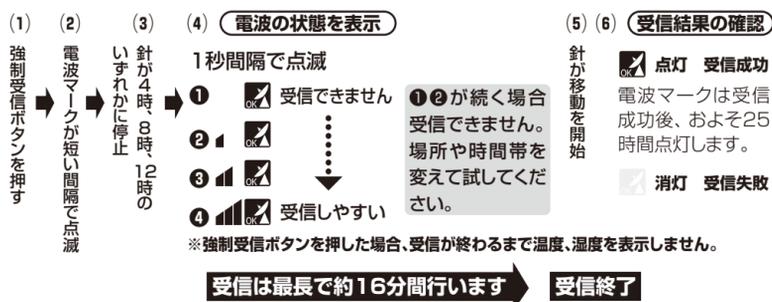
## 電池の交換時期お知らせ機能 …… 電池マーク表示、秒針が停止

電池の交換時期になると電池マークが表示され、秒針が常時12時位置に停止します。また、標準電波の受信を行いません。このような状態になったときには、速やかに新品の電池にすべて交換してください。

**注意** 電池が液漏れを起こすと時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

- 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。
- 時計が止まったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

## 標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



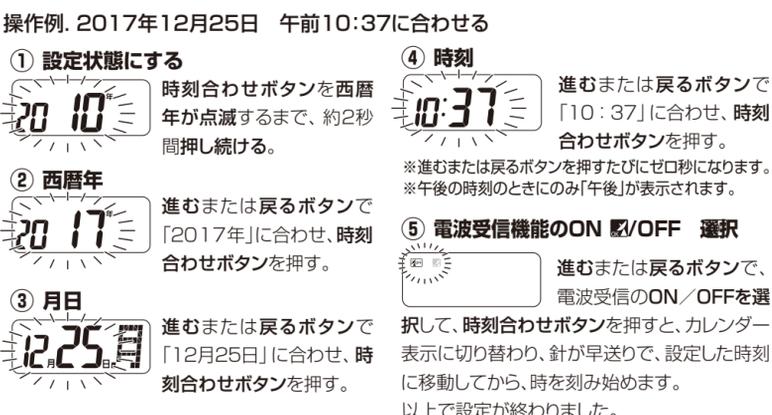
**電波サーチ機能の使いかた** …… 受信しやすい所を探すには  
①窓際やベランダで(4)まで行い、⑥または④の状態にあることを確認します。  
②時計を掛けたい所に移動して、電波マークで受信状態を確認します。電波マークが①または②のときは、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

## 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。
- 時刻を合わせて使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日時を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクォーツ精度になります。

## 手動での時刻合わせ…任意の日時に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

操作例に従って設定してください。  
ボタン操作 西暦年、月日、時分を合わせるときは、数値を進むまたは戻るボタンで合わせてから、時刻合わせボタンを押します。



※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、日付の表示に戻ります。  
※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

## 標準電波受信機能のON/OFFについて

標準電波受信機能がONの場合は定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。OFFの場合は受信を行いません。誤受信しやすい所で使用するときや任意の日時に合わせて使用するときOFFにします。電波受信のON/OFF設定は、**手動での時刻合わせ** の操作で行います。  
○電波受信機能がOFFのときに、強制受信ボタンを押すと針は12、4、8時のいずれかに移動し、その後時刻位置に移動を開始します。必要に応じて手動で日時を合わせてください。  
※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

## 使用方法 電池を入れて、電波を受信して日時を合わせる

手動で日時を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ** を参照してください。

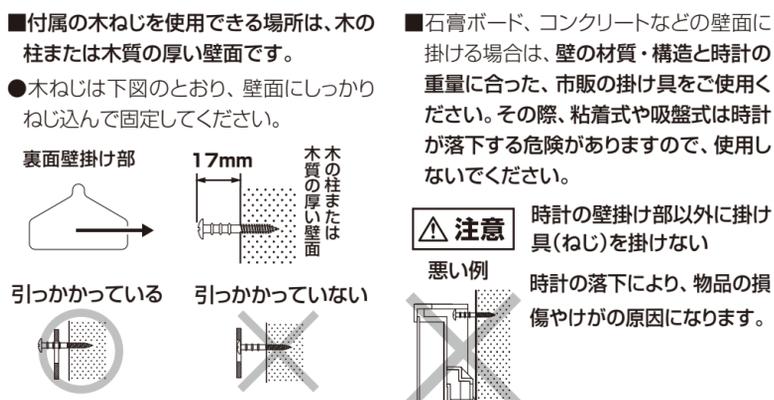
- ◎窓際など電波を受信しやすい所でお使いください。
- ① **電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を2個入れる**
- ⚠ **注意** 電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ② **強制受信ボタンを押す**  
針は、早送りで4、8、12時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。  
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。
- ③ **時計の掛けかた** に従って、時計を確実に掛ける
- ④ **16分待つて結果を確認する**  
受信を最長で16分程度行い、受信が終わると針が早送りで時刻位置に移動します。受信に成功すると電波マークが点灯します。  
**標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた** 参照。  
受信に失敗した場合は、**標準電波を受信できない場合** を参照してください。
- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
- 受信に失敗している場合は、表示されている日時は正確ではありません。

## 設置について

- ⚠ **注意** 一般的な家庭やオフィスの室内用です。粉じんが多い所、水がかかる所、結露する所では使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。
- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- 直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- 屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 設置する高さによっても温度や湿度が変わります。
- 湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでます。

## 時計の掛けかた

- ⚠ **注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具(木ねじ)に壁掛け部がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。



## 温度・湿度、注意報(インフルエンザ/熱中症)について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。温湿度の測定は1分間隔で行います。

測定ができないときの表示
温度 「HH.H」 50℃より高温 「LL.L」 -9.9℃より低温
湿度 「HH」 90%RHを超えている 「LL」 20%RH未満
「--」測定不能(温度が5~50℃の範囲外)

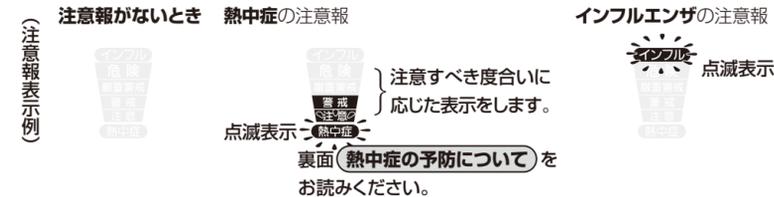
- 次のようなときは、温度・湿度と注意報を表示しません。
- 強制受信ボタンを押して、電波の受信を行っているとき。
- 暗い所で自動受信を行っているとき。



- 電波受信機能がOFFのときに、強制受信ボタンを押すと温度・湿度と注意報は一度消灯してから表示を再開します。

## 注意報の表示(環境の目安表示)

※表示は発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。また、公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。



## 光、音による警告について(警告スイッチ)

- 警告スイッチを「光」または「光&音」にすると、注意報の状態に応じて定期的に15秒間、音や光でお知らせします。
- 光 : 警告ランプの点滅でお知らせします。
- 光&音 : 警告ランプの点滅と警告音でお知らせします。
- OFF : 音や光ではお知らせしません。
- ※音量や明るさの調節、暗くなると自動停止する機能はありません。
- 使用を開始するときに、モニターボタンで警告がどのように変わるか確認してください。
- インフルエンザマーク点滅**: 30分間隔でお知らせします。
- 熱中症マーク点滅**: 注意すべき度合いによりお知らせする間隔や警告ランプの点滅のしかた、鳴りかたが変わります。
  - 注意 お知らせしません。
  - 警戒30分間隔
  - 嚴重警戒20分間隔
  - 危険10分間隔※注意すべき度合いが変わるときにもお知らせします。

## 注意報の表示と音と光による警告のしかたを確認する(モニターボタン)

モニターボタンを押し続けると、表示が警戒、嚴重警戒、危険、インフルエンザと変わり、これらに応じて警告音や警告ランプが変化します。モニターボタンを離すと止まります。  
○強制受信ボタンを押して電波を受信しているときは使用できません。

## 用途について

- この製品は医療や業務用として開発したものではありません。
- 注意報は、測定条件によって大きく変化します。あくまでも目安としてお使いください。
- 本製品は、温度・湿度の証明など商取引に使用することはできません。